

令和 7 (2025)年度 第 1 回学校運営協議会 議事録

1. 日 時 令和 7 (2025)年 7 月 10 日 (木) 15 : 00～17 : 05
2. 場 所 栃木県立佐野高等学校 選択 3 教室 (SG ルーム)
3. 出席者 委員 6 名、栃木県教育委員会事務局職員 1 名、オブザーバー 2 名、本校職員 7 名
4. 司 会 高校教頭
5. 次 第

(1) 校長挨拶

探究活動を中心に積極的なご支援を賜り本当に助けられている。よりよい学びを追求するために今後ともご協力をお願いしたい。

(2) 栃木県教育委員会事務局挨拶

「地域連携教員」をいち早く導入した栃木県として、本協議会も大いに活用して探究活動の充実に努めていただければ有難い。

(3) 委員紹介・出席者紹介

(4) 議事 (司会 委員長)

ア 学校運営に関する基本方針について (校長)

校訓、教育目標、学校運営方針、努力点について校長より説明。その他、教職員の働き方改革の推進についても説明。

イ 進路結果・部活動成績・高校入学者選抜等 (中高教頭)

(高校教頭より)

進路結果について、「進学データ 2025」を用いて説明。

部活動の結果について、関東大会以上の大会に出場した部活動について説明。

特に昨年度は陸上競技男子 200m 走において、インターハイ優勝者を輩出することができた。令和 9 年度高校入学者選抜からの実施形態の変更、令和 8 年度からの進学に重点を多く単位制高校への移行についても説明。

(中学教頭より)

総合的な学習の時間に3学年を通して、系統立てた各種探究活動を実施。

学校行事もできうる限り中高同時開催を目標に行っている。

通学範囲も広く、多様な入学生がいる中だが、生徒は比較的落ち着いて学校生活になじめている。

ウ 学校評価について (主幹教諭)

授業評価については、全生徒が自分の受けているすべての授業について指導を受ける教員を評価する。ただし、一方的に評価するだけでなく、自らの学ぶ姿勢の内省も踏まえて評価を行っている。

エ 学校運営協議会の今年度の活動について

① 「人財バンク」の活用状況と今後の活動方針について (学習指導部長)

頂いた人財バンクにより、保護者からの講師も4名実現した。今後の課題研究へのFW先、助言などでお世話になっていきたい。また、保護者以外にも多くの外部の方々にお世話になっている。これらの方々にも登録をお願いしていきたい。

② 「人財バンク」に関する年間計画(委員長)

今年度も12月の課題研究成果発表の際に、人財バンク登録を呼びかけることで継続を図ること、また、人財バンクと生徒のマッチングについての提案もいただき、早速7月18日の午後にご協力いただけることになった。

オ ワークショップ (委員・生徒・教員)

・「佐野高校・同附属中学校のよいところ」

・「探究活動でやってみたいこと」

急な雷雨の対応で中学生を帰宅させる措置をとったため、委員・「高校生」・教員でのワークショップ「佐野高校のよいところ」を行った。生徒を各班の班長として行ったワークショップはとても盛り上がり、生徒の日ごろのグループ活動の成果の発表の場となった。多くの委員の先生からもファシリテーターとしての能力を高く評価していただいた。

カ 今後の活動について(委員長)

「人財バンク」のさらなる充実を目指し、同窓会などとも協力し、さらなる協力者の発掘を行っていきたい。

(5) その他

学校側より、次回、第2回学校運営協議会を令和8年2月16日(月)に実施する案を提案し、出席委員の皆様にご承認いただいた。